

標準施工要領書

< 下地調整塗材「CM-2」規格適合品 >

ハイモルマックス[®]ネオ

昭和電工建材株式会社

建設資材営業部

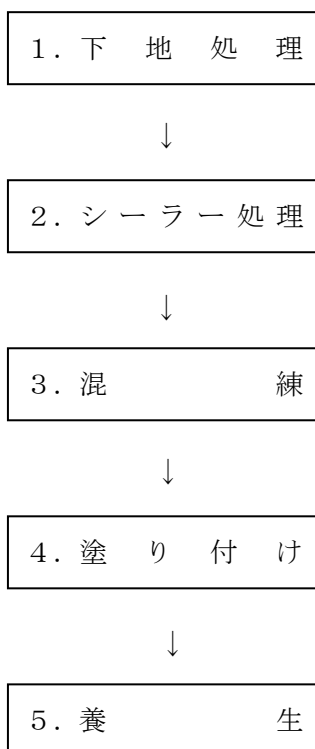
〒221 - 0024
神奈川県横浜市神奈川区恵比須町 2 - 1
TEL 045(444)1691 FAX 045(444)1699

1. 用途 内外壁タイル下地、床下地、外壁吹付け下地、全面厚塗り仕上げ
RC躯体の土間・天端等の補修及び不陸調整、断面修復
(標準塗厚：0 接点～15mm)

2. 使用材料

材料名	荷姿	性状・その他
ハイモルマックス#ネオ	25kg/紙袋	カチオン粉末樹脂入り完全プレミックスモルタル

3. 施工順序



施工手順

1 下地処理

下地のレイタンス、脆弱層、脂分、汚れ等をワイヤブラシ、サンダー掛け等で除去し、水洗い清掃をおこなって下さい。高強度コンクリートにつきましては、必ず高圧洗浄をおこなって下さい。

※ パネコート型枠を使用した躯体の場合、必ずワイヤブラシ又はサンダー掛け等を行ってください。

※ 浮き、剥落の原因となりますので、下地の清掃は入念におこなって下さい。

2 シーラー処理（吸水調整材塗布）

下地の乾燥後、必ずハイモルエマルジョンの5～6倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布して下さい。

※ ドライアウトの原因となりますので、下地への急激な吸水を調整するために希釈倍率を厳守し、むらなく丁寧に塗布して下さい。

※ 夏場等、吸水が著しく激しい場合には塗布回数を増やして下さい。

3 混練

	配合	重量比	標準練り上がり
ハイモルマックス#ネオ	25kg/袋	100	約 15 ^{リットル} / 袋
水	5.5L	22	

マックス#ネオは、カチオン系特殊粉末樹脂が既調合された、完全一材型の製品です。

所定量の水（約5.5L）を容器に入れ、次にハンドミキサー等で攪拌しながらマックス#ネオを徐々に加え、十分に練り混ぜ後（約3分）、施工軟度に調整して下さい。

※ 加水後の材料は夏季40分以内、冬季60分以内に使い切り、練り足し、水を加えての練り戻しは避けて下さい。

4 塗り付け

下地に対し鏝圧を十分にかき、厚さ「2～3mm」程度でガリッと擦り込むように塗り付けた後、所定の厚さに塗り付けて下さい。但し、1回の塗厚は10mmまでとし、それ以上の厚塗りをする場合は、1～2日養生後、塗り重ねて下さい。

また、塗り重ねる時は、下地処理として必ずハイモルエマルジョンの5～6倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布し、下塗り同様「2～3mm」程度でガリッと擦り込むように塗り付けた後、所定の厚さに塗り付けて下さい。

次に水引き具合を見計らい、仕上げ材の種類によって金鏝押さえ、木鏝押さえ等の仕上げをおこなって下さい。

※ 浮きや割れの原因となりますので「ガリッと2～3mm」擦り込んでから所定厚に塗り付けて下さい。

※ 1回の塗厚は、標準仕様の塗厚「10mm以内」を厳守して下さい。

※ 標準仕様の塗厚「10mm」をこえる場合は、2回以上に分けて塗り付けて下さい。その際の工程間隔は1～2日以上として下さい。但し、全面塗りの場合は1回の塗厚を「8mm以下」として下さい。

※ 塗り継ぐ場合、下塗り面に目荒し(クシメ、ホウキメ)をおこなって下さい。

※ JASS 15 左官工事の標準仕様に従って施工して下さい。

※ タイル下地として使用する場合は、必ず3mm以上の塗厚で施工してください。

5 養生

仕上げ材施工までの養生期間は、10日(冬季14日)以上として下さい。

また、通風や日射による早期乾燥を防止するため、必要に応じてシート養生、散水養生をおこなって下さい。

6 使用上の注意

○気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適切な保温、採暖をおこなって下さい。

○施工中、及び施工後、硬化前に降雨、降雪の恐れのある場合は、施工を中止して下さい。

○現場にて、砂、セメント等を追加混入することは絶対に避けて下さい。

○セメント製品に特有の現象である白華(エフロ)が発生することがありますが、品質には異常ありません。

<その他注意事項> 詳しくは製品安全データシート (MSDS) をご参照ください。

取扱及び応急処置

- 取扱い時は必ず保護具（保護手袋・保護眼鏡・マスク等）を着用して下さい。
- 取扱は換気の良い場所にて行って下さい。
- 取扱い後はうがい及び手洗いを充分に行って下さい。
- 使用後の器具類は早めに水洗いして下さい。
- 応急処置

目に入った場合	直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けて下さい。
皮膚に付着した場合	直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
誤って飲んだ場合	大量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の判断を受けて下さい。

製品の保管

- 雨、露のかからない湿気の少ないところに保管し、地面に直接放置しないで下さい。
- 購入された材料は、3ヶ月以内に使用しきって下さい。

製品の輸送

- 袋の損傷による内容物の漏れが無い事を確認して下さい。
- 転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防水を確実に行って下さい。積み下ろしも同様に願います。また、湿気、水漏れに注意して下さい。

製品・梱包の廃棄

- 都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託して下さい。

漏出時

- 飛散した粉は掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などに回収して下さい。
- 排水は中和、希釈処理などにより、河川等に直接流出しないように対策をとって下さい。

以 上